

## 5 製造業の生産額

製造業の県内生産額の構成比をみると、最も大きい業種は化学製品で24.3%を占め、次いで生産用機械11.3%、金属製品9.0%、非鉄金属8.7%、電子部品7.9%の順となっている。

製造業の県内生産額を37部門表による19部門で見ると、化学製品が828,617百万円(24.3%)と最も大きく、次いで生産用機械(385,974百万円、11.3%)、金属製品(306,518百万円、9.0%)、非鉄金属(297,117百万円、8.7%)、電子部品(269,037百万円、7.9%)の順となった。

平成27年との比較では、化学製品、金属製品、生産用機械などでウエイトが高くなり、輸送機械、電子部品などでウエイトを落としている。

製造業の県内生産額をさらに細かく106部門表により53部門で見ると、医薬品が679,085百万円(20.0%)と最も大きく、次いで生産用機械(385,974百万円、11.3%)、建設用・建築用金属製品(245,486百万円、7.2%)、非鉄金属加工製品(197,077百万円、5.8%)の順となった。

また、特化係数は、医薬品(8.09)で最も大きく、次いで建設用・建築用金属製品(6.00)、化学肥料(5.15)、非鉄金属加工製品(4.90)、鋳鍛造品(鉄)(3.79)の順となった。

これらのことから、生産額、特化係数がともに大きい医薬品、建設用・建築用金属製品、非鉄金属加工製品が令和2年の富山県製造業の特徴ある産業といえる。

図1 製造業の部門別生産額の構成比

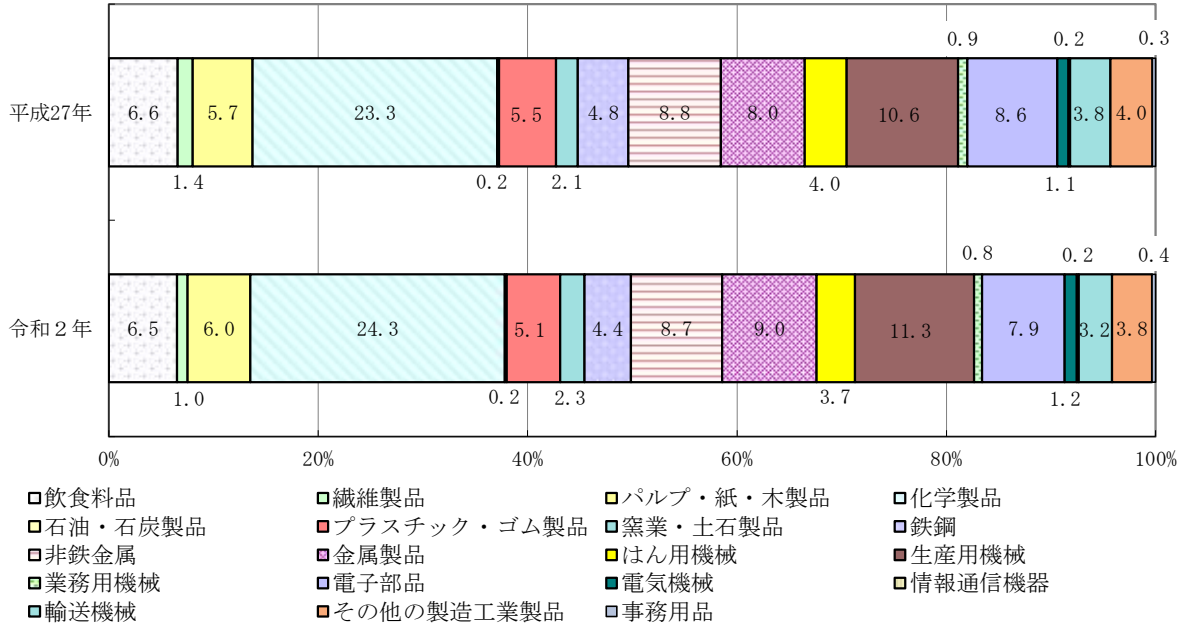


図2 製造業の部門別生産額・特化係数

